



そよ風



- 1 気球体験
- 2 米国遺伝子細胞治療学会
- 3 実習感想文
- 4 法改正について
- 5 全国重症心身障害児施設長会議・院内研修
- 6～8 療育活動
- 9 行事のご案内・ダンスパーティー 2012
- 10 人事異動

5月の奇跡

在宅支援室医療ソーシャルワーカー 関田亜紀子

今年の5月は、天候が不安定でした。6日につくば市などで発生した竜巻は言うまでもなく、東大和市でも雹が降りましたし、雷も例年より多かったようです。

熱気球は風に敏感な乗り物で、そのため晴天でも飛べないことがあります。5月17日(木)の朝は風もなく好天でしたが、午後からは荒れ模様になるという予報も出ていました。

そんな中、予定通り8時半から搭乗を開始し、入所・通所の25名の方々に熱気球に乗っていただくことができました。実は最初に気球を立ち上げてロープで固定する時、地上では風を感じていなかったのですが、上空には風がありゴンドラは左右に揺れていました。数人の職員が試乗していましたが予想外の動きにびっくりしたと思います。通常の飛行では気球は風と共に動くので風を感じることはありません。係留の難しさを改めて感じました。

さて前置きが長くなってしまいましたが、今回もバスケットにドアが付いたバリアフリー気球に利用者さんと、親御さんや職員の介助者が乗りこみ、5分程度上空に滞在しました。パイロットの操作でバーナーから炎が出ると球皮(風船の部分のことです)の中の空気が熱せられて上昇する、熱が下がると降りてくるという単純な仕組みです。炎を出すときは大きな音が出ますし、熱も感じます。

順番を待つ間は写真を撮ったり、大きな熱気球を見上げ、乗っている人に手を振ったりしました。球皮の高さは20メートルほどもありますし、カラフルなので青空や5月の緑に映えて鮮やかでした。

熱気球には不思議な力があるように思います。空を飛ぶという非日常なことや大きさからでしょうか? 見ただけでワクワクしてきます。受付係をしながら一緒に楽しませていただきました。

今回の搭乗体験は昨年中止になった分をご厚意で実施していただいたものです。町田さんご夫妻をはじめ、石川さん、蒲さん、ボランティアの西さんありがとうございました。また秋に来てくださいね。お待ちしております。

■ ■ 第 15 回米国遺伝子細胞治療学会に参加して ■ ■

医局 岡田 真由美

5 月 16 日 (水) から 19 日 (土) に米国ペンシルバニア州フィラデルフィアで開催された第 15 回米国遺伝子細胞治療学会に参加してきました。

日本人にはなじみが薄いフィラデルフィアですが、アメリカ人にとっては独立宣言が起草された歴史的に重要な街です。ニューヨークと首都ワシントンの中に位置し、人口 500 万人を擁する全米第 5 位の都市です。1682 年に英国人のウィリアム・ペンが中心となって街を築きました。フィラデルフィアとは古代ギリシア語の「兄弟愛の市」という意味で、宗教弾圧を受けたペンが争いのない街にしたいという願いを込めて名付けました。ベンジャミン・フランクリンが創設したペンシルバニア大学を始め数々の大学があり医学研究も盛んです。映画にも度々登場しています。「ロッキー」ではスタローンが美術館の階段を駆け上るシーン、ニコラス・ケイジ主演の「ナショナルトレジャー」には独立宣言の時鳴らされた自由の鐘が出てきます。

学会は、市中心部のコンベンションセンター (19 世紀末から 90 余年使われた巨大な駅舎の跡地に建設された会議場) で行われました。

遺伝子治療と聞くとどんなイメージをお持ちでしょうか？日本の厚生労働省の遺伝子治療臨床研究の審査は大変厳しく年間に数研究しか認可されないため、難しい実験的な治療という印象をお持ちの方が多いと思います。しかし外国特に欧州では盛んで、オランダでは年間 600 以上の実施計画が認可され実施されています。近年は中国や韓国でも研究が進み、米国の学会にもかかわらず今年「アジアの遺伝子治療の進歩」というシンポジウムがありました。1990 年に米国で世界初の遺伝子治療臨床試験が行われてから今年で 23 年になります。期待された成果が出なかったり、被験者が亡くなったりした時には研究が足踏み状態になった時期もありましたが、ここ数年は副腎白質ジストロフィーの治療などの成功例の報告も増えています。今回の学会でも先天性疾患に加え癌や生活習慣病、神経難病に対する治療成果の発表が多数ありました。印象に残ったのは、2006 年にノーベル医学生理学賞を受賞したメロー博士の特別講演です。RNA 干渉という現象を発見し、マイクロ RNA を介した遺伝子制御の存在を明らかにしました。講演内容は難しかったですが、研究に対する情熱が伝わってきて大変感銘を受けました。

日本との時差が 13 時間あり時差ぼけに苦しみましたが、懲りずにまた来年も参加したいです。



法改正について

事務部医事係長 阿部 靖

4 月に児童福祉法及び障害者自立支援法の法改正があり、身体、知的、精神の各障害別に分かれていた施設が「障害者入所施設」として一元化されました。

「障害者入所施設」は、「福祉型障害児入所施設」と「医療型障害児入所施設」の 2 種類があり、当センターは「医療型障害児入所施設」となります。また、児者一体的な支援を継続できるように、「医療型障害児入所施設」と「障害福祉サービス(療養介護、短期入所、生活介護)」の両方の指定を同時に受けています。

今回の法改正では、長期入所の方と通所利用の方が制度の移行によって手続きが必要になりました。また、各部門においても昨年の 9 月頃から指定事業所、算定要件、障害程度区分の申請、サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者等の準備を始め、4 月からの法改正に対応をしています。

1. 長期入所

長期入所は「重症心身障害児施設支援」から「障害福祉サービスの療養介護」への移行となり、療養介護受給者証の発給には障害程度区分の判定を受ける必要があるため、在宅支援室は面談の調整、病棟職員の面談立会、病棟医の医師意見書の作成等対応を行いました。(一部の区市町村はみなし認定になっていますので今後手続きが必要)

長期利用者のご家族には区市町村への申請手続きを行っていただき受給者証の早期発行にご協力を頂きましたが、引き続き 6 月には負担上限額の期限に伴う更新手続き、7 月からは標準負担額減額認定証、受給者証の申請が続きますので引き続きご協力お願いいたします。

2. 通所

通所は国庫補助事業で「重症心身障害児(者)通園事業」として実施されていましたが、児童福祉法の改正により「児童発達支援」として法定化され、18 歳以上の障害者は「障害福祉サービスの生活介護」への移行となりました。通所利用者のご家族には生活介護の支給申請をしていただきましたが、負担上限額等の期限に伴う更新手続きが発生しますので引き続きご協力をお願いいたします。また、食事代のお支払いが東京都から窓口でのお支払いになりご不便をおかけしております。

通所職員は生活介護の実績記録として新たに「生活介護サービス提供実績記録票」の作成が必要になり、サービス毎に記録を付けて確認印を頂いております。それを基に算定を行い、利用料を区市町村へ請求し写しを区市町村へ送っています。適切な算定を行う上で重要な書類になります。

3. 障害者総合福祉法(仮称)

来年の 8 月に再度法改正が予定されています。今回の改定は以前の制度からの移行が考慮されており、手帳の届出、算定の一部変更などに留まりましたが、児者の一貫した支援の確保、施設基準、算定基準、人員基準、設備基準など大きな変化が無ければ良いと思っています。

平成 24 年度全国重症心身障害児施設長会議について

事務長 吉野 雅文

去る 5 月 10 日 (木)・11 日 (金)、佐賀県で開催された会議に院長、看護部長とともに参加してきました。全国の 122 に及ぶ重症児施設の施設長等約 360 人が一堂に会し、施設を取り巻く環境への対応、特に新制度の移行に伴う課題を中心に討議が進められました。

行政説明として厚生労働省障害福祉課の室長補佐から、今年度から施行されたいわゆる「つなぎ法」の概略が説明され、さらに、来年 4 月施行を目指した「障害者総合支援法案」については、3 月に閣議決定され、4 月には衆議院審議可決、今後は参議院での審議が予定されることが報告されました。また、シンポジウムでは、「新しい法体系のもとでの重症児施設の今後の選択肢」というテーマで各施設から新制度施行による経営など運営上の課題が提起されるとともに、診療報酬の改定内容が説明されましたが、当センターに係る部分について大きな変更がみられず安堵したところです。

全体を通じて考えさせられたことは、今後の重症児施設のありようです。国が進める障害者制度改革の中では、重症児施設そのものが人権侵害、入所者は地域に移行すべきとの声が上がりました。守る会などが重症児者の現状、特性を踏まえた重症児施設の必要性を粘り強く訴えた結果、施設の役割が漸く理解されつつある状況です。

さて、ご家族の介護に支えられている多くの在宅重症児者への支援策は、十分といえるのでしょうか。短期入所、通所、外来など事業充実への期待は、今後益々増大してくるものと推測されます。当センターが開設以来 20 年にわたり、長期入所とともに在宅支援に力点を置いた施設運営を行ってきた先見性は評価されてしかるべきと思います。しかし、これに甘んじることなく、今後も長期入所と在宅支援事業を両輪とし、その充実強化に向け重症児者の療育に真摯に取り組んでいくことが重要と考えています。

4・5・6月の院内研修

基礎コースⅠ	○新任オリエンテーションⅠ・Ⅱ ○摂食・嚥下障害ケア(第1回) ○看護(療育)記録
基礎コースⅡ	○救急看護
一般コース	○リーダー研修(第1回) ○療育研究(第1回) ○療育研究(第2回)
専門コース	○摂食・嚥下障害ケア(第1回) ○呼吸ケア(第1回)
管理コース	○昇任時主任研修

7・8・9月の院内研修予定

基礎コースⅠ	○安全管理	9/ 6 (木)
基礎コースⅡ	○摂食・嚥下障害ケア(第1回) ○呼吸ケア(第1回)	7/17 (火) 9/11 (火)
基礎コースⅢ	○プール活動 ○安全管理	7/ 6 (金) 9/21 (金)
一般コース	○療育研究(第3回) ○プリセプター ○看護診断	7/12 (木) 7/25 (水) 9/13 (木)
専門コース	○摂食・嚥下障害ケア(第2回) ○呼吸ケア(第2回)	7/ 5 (木) 7/31 (火)

療育活動

院外活動に行ってきました！

第 4 病棟指導員 阿部 禎夫

去る 6 月 5 日(火)、あまり暑くない程良い気候の中、院外活動で 4 名の利用者さんと共に所沢市の航空発祥記念館に行ってきました。

ここでのお目当ては、通常の映画館より更に大きなスクリーンで映像を楽しめる「大型映像館」。映画「月の魔法とサンゴの海」を皆で鑑賞したのですが、迫力の画面で繰り広げられる素敵な映像に、皆さん笑顔もよく見られていました。

記念館内散策では、展示の飛行機と共に記念撮影。ヘリコプターやプロペラ機をバックに、職員も一緒に手を広げて「キーン!!!」・・・等と言いつつ、楽しい写真をパチパチ写しました。隣接の航空公園も散策し、とても綺麗なバラが咲いていたり、かわいいワンちゃんがたくさん散歩していたりする中、気持ちよい時間を過ごす事ができました。

昼食は、近隣の和食レストラン「大穀」に移動。ここで広々とした和室を借り切り、浜松産のとても美味しいウナギ料理がメインの「姫膳」を食べました。皆さんが食べやすいようお店の方に柔らかめに再調理して頂いた事もあり、皆さんとても美味しそうでしたよ～。

楽しく過ごせたためでしょうか、帰りのバスの中でも、センターに戻ってからも、笑顔がたくさん見られていました。



プール活動

第 1 病棟保育士 高橋達也

先日初めてプール活動に参加させていただきました。プール活動のことを利用者さんに伝えると嬉しそうにしていました。

実際のプール活動では、普段の活動の様子とは違った表情が印象的でした。水に浮かぶことの心地よさや、職員との一対一での関わりなど、プール活動ならではの体験が利用者さんのリラックスした表情を作っているのだと感じました。水の中に潜ったり、職員で作った流れに揺られたり、プールを楽しんでいる姿を見て、私も楽しませていただきました。

普段の活動よりも更に、一対一で関わることのできるプール活動は利用者さんの楽しみでもあり、貴重な経験でもあるのだと感じました。

また別の利用者さんのプール活動に参加し、普段は見られない表情を見られたらと思います。



第 2 病棟院外活動

第 2 病棟指導員 荒瀬 愛

♥イチゴ狩り

5 月 9 日 (水)、女性利用者 3 名、女性職員 3 名、お母様 2 名、女性ばかりでイチゴ狩りに行ってきました! 向かうは、埼玉県深谷市の苺農園 (いちご畑花園)。天気予報では午後から雨…。しかし皆さまの日頃の行い? それとも晴れ女パワー? 雨に降られることなく、外出を楽しむことができました。

高地栽培で育った甘くて大きなイチゴを、採っては食べ、採っては食べ! 苺をたくさん食べた後は、洋食レストランでランチを美味しく頂きました! 次は食後のひと休み… と思いきや、花園フォレストというバームクーヘンの有名なお店でデザートを完食。食べ過ぎてお腹がぼっこり! 美味しい女子会でした。



★平林寺・多摩六都科学館

5 月 18 日 (金)、埼玉県新座市にある平林寺へ行ってきました。お寺敷地内の遊歩道をのんびりお散歩… 木陰が多くとても気持ちの良いところでした。近隣に住む職員がサプライズゲストで登場! 一緒にお散歩を楽しみました。

平林寺を後にして、多摩六都科学館へ。実験をしたり、宇宙のことを学んだり! 広くてのんびり休むこともできました。



とっても素敵な笑顔 (*^_^*)/

途中、雷雨に見舞われるハプニングはあったものの、この笑顔を見ると、とても楽しい時間を過ごせたようです。

イチゴ狩りと懐かしの智光山公園

第 3 病棟指導員 難波 正弘

5 月 16 日(水)、前日降った雨も上がり、絶好の遠足日和になりました。目指すは埼玉県の志村農園です。新青梅街道から圏央道に乗り埼玉県へ向かいます。少しずつ景色が緑に変わり、インターを降りると一面に田畑が広がり、のどかな田園風景が味わえました。ビニールハウス内は「紅ほっぺ」「章姫」「とちおとめ」など 5 種類のイチゴが食べ放題! 全面バリアフリーの広い敷地内を散策しながら、あま〜いイチゴを堪能した O さん、お土産で頂いた金魚草(農園の隣接ハウスで栽培)をニコニコしながら眺めていた Y さんでした。

次に向かった先は、以前病棟の遠足で立ち寄った思い出がある、懐かしの智光山こども動物園です。食堂で昼食をとり、園内の動物と触れ合いました。ここにはたくさんの小動物がいます。野生ヤギの王様マーコールやニホンザル、ロバ、カワセミなどなど…。ムササビのむーちゃんは、なんと 14 歳(ムササビの平均寿命は 10 歳)だそうです。全員で芝生にゴロゴロと寝転がり、自然の澄んだ空気を思いっきり吸い込みました。M さんの寝顔、ステキです!

埼玉の味覚と自然を満喫した一日でした。



楽しかったプール活動

通所係保育士 吉本 瑞穂

今年から新しくリニューアルした行事「ゆったり通所데이」が 6 月 15 日(金)に開催されました。いつもより少し遅く通所に来て、夜まで皆と一緒に過ごせる日です。

今回の第 1 班目は、2 年振りの待ちに待ったプールです。どんな水着? 新しく買ったんだ。2 枚用意しちゃった。ドキドキ、ワクワクで迎えた当日は 11 名の顔が揃いました。

のんびりお昼を食べた後はプール! プール! 自分の番まで待ちきれず「どんな風に入ってる?」とギャラリに皆で詰めかけてスタートです。色とりどりの風船が水面に浮かべられ、とってもきれい。お風呂とは違うよ、気持ちい〜! 初めは、おっかなビックリだった人も気がつくとい顔! 「あんな顔してるー」いつもは見ない顔をたくさん発見しました。

プール DE ボール獲得ゲームでは、勝負に気合が入ります。職員も真剣そのもの。応援する声、はしゃぐ声たくさんの黄色い声がプール中に響き渡っていました。

夕飯を皆で食べ、あっと言う間に 1 日が終了しました。「やっぱりプールはいいな〜また、来年・・・」

2 班(アウトドア)3 班(文化系)も楽しみです。



行事のご案内



第20回夏祭り

日時：2012年8月3日(金) 16:30～19:30

場所：東大和療育センター敷地内

内容：焼きそば、ヨーヨー釣りなどの模擬店や、打ち上げ花火、ピエロのパフォーマンスショーなど利用者の皆さんに楽しんでいただけるよう準備を進めています。ご協力よろしくお願いいたします。

第3回東大和療育センターフェスティバル (略称：東大和フェスタ)

日時：2012年10月13日(土)10:00～15:00

場所：東大和療育センター敷地内

内容：ふれあい動物園・熱気球係留体験等

☆当日、お手伝いして下さるボランティアさんを募集しています。

詳細はホームページ (<http://www.hmc-smid.jp/>) をご覧ください。



ダンスパーティー 2012

リハビリテーション科作業療法士 水野 充美



今年も数多くの利用者さんによる趣向を凝らした車椅子ダンスを披露し、ご家族の方々、職員の皆さんと一緒に、とても楽しいダンスパーティーになりました。今年バレエダンサーのスペシャルゲストも大好評でした。来年もお楽しみに!!



金環日食

5 月 21 日 (月) 東大和療育センターからもこんなにきれいに観ることができました。

次にセンターから見られる日食は 2035 年とのこと。壮大な宇宙のロマンと神秘ですね。



リハビリテーション科の生け花展示。
エントランスホールを彩りました。



栄養科から新茶が振る舞われました。
爽やかさと甘みが口の中に広がりました。



そよ風第 69 号

編集 院内報そよ風編集委員会
発行日 平成 24 年 7 月 15 日
発行 東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10
☎ 042-567-0222
印刷 有限会社 はじめ印刷
☎ 042-560-3031

編集後記

緑・風・日差しが日一日と夏らしくなってきました。これからの季節、上手く節電しながら、楽しいこといっぱいの日々を送り、暑い夏を乗り切りましょう。(K.H)

今回の「そよ風」はいかがでしたか？私とはというと初めてのことでただけでした。特にアポイントの際は緊張・不安等を感じていましたが、無事作成することが出来ほっとしています。気軽に手に取ってもらえればと思いますので、よろしく願います。(S.I)

初めて編集に携わりました。利用者さんの楽しそうな写真をたくさん見て、私も楽しい気分になりました。1 年間よろしく願います。(M.T)